

穂香タイムス

Honioi times

北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）の平成22年度の入館者数が、6年ぶりに4万人を超え、40,848人となりました。特に平成22年度は、外務大臣をはじめ、政府の要人も視察されるとともに、元島民や関係者との要望・懇談会などが数多く開催されました。平成23年度からは新たなスタッフも加わり、多くの皆様のご来館をお待ちしております。



北方四島交流センター

ニ・ホ・口の最近の出来事

ニ・ホ・口周辺にも春

春の訪れとともに、動物たちも動き出し、ニホ口の玄関前には「エゾシカ」があいさつに！

ヒバリやノビタキ、オオジシギも上空を舞っています。天気の良い日には国後島や知床の山々が展望室から望めます。5月20日には中庭の「チシマザクラ」も開花しました。

ニ・ホ・口は5月から10月まで毎日開館しています。



「見て知る北方領土展示会」 ～北方領土のこれまで～



北方領土対策根室地域本部北方領土対策室主催の展示会が開催されました。北方領土や返還運動に関する基本情報をはじめ、日本人が四島に暮らしていたころの状況や四島の自然などを、子どもから大人までわかりやすく説明されています。

平成23年度のビザなし交流が始まる

本年度の第1回北方四島交流訪問団（実施団体：道推進委員会）が5月14日から16日までの期間で国後島を訪問しました。

荒天で出港が1日遅れましたが、13日の結団式に引き続き、14日も納沙布岬や二・ホ・ロで事前研修をしっかりと行い、団員同士の間も交流も深まり出発しました。

ビザなし交流は、今年で20年目を迎え、平成22年度までに訪問242回（9,962人）、受け入れ168回（7,336人）、合計17,298人が交流しています。



北方少年少女塾

平成23年度の「北方少年少女塾」が5月18日スタートしました。この事業は北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会が主催するもので、根室管内の児童生徒に北方領土問題に対する正しい理解と認識をもってもらうために平成13年度から実施しています。

初日は「上春別中学校」から生徒9名、引率者4名が参加し、歯舞群島勇留島出身であるニ・ホ・口高橋専門員の講話や、展示室での説明員の解説に耳を傾けていました。本年度も11月上旬まで、23回、約900名の参加を予定しています。





熱心に質問し、メモをとる生徒たち。
事前学習がしっかりされているようでした。

北海道市議会議長会研修会

第74回北海道市議会議長会定期総会が根室市で行われ、日程2日目（5月27日）の研修会では、ニ・ホ・ロ交流ホールにおいて、根室市北方領土返還要求推進協議会会長白崎大氏を講師に「北方領土問題の現状と課題」～北方領土の一日も早い返還を願って～と題した講演会が行われ、参加された全道各市の議長・副議長の皆さんは、熱心聞き入りながら質問をされていました。



サークル紹介

【ロシア語サークル ブージュム・ドウルジャーミ（友達になりましょう）】

「ロシア語ってどんな感じ?」「ちょっとだけ関心があるんだけど・・・」と思ったら、ぜひ私たちのサークルに足を運んでみませんか?初めての方には私たち会員がサポートします。

とってもアットホームなサークルです。まずは見学にいらして下さい。

活動日 : 毎週水曜日 午後7時～9時

活動場所 : ニ・ホ・ロ

お問合せはニ・ホ・ロまで。

※ 初心者歓迎します。挨拶から始めよう! 「ズドラーストヴィーチェ!(こんにちは)」



展示物の紹介

【二・ホ・ロの中のロシア】 No.1

【赤い庭（クラスヌイ サート）】（館内スロープ壁面に展示）

19世紀末期のロシアのプリント文様にアドリアノーブル色といわれる鮮やかな赤を特徴としたロシアの花の装飾文様があります。

その装飾文様に見られる大柄の花と葉の部分を個々に抜粋し組み替えて綴綿上に表現したものです。大型の綴錦が3枚吊るされており、ロシアの雰囲気を感じさせています。

